

お知らせ

INFORMATION

No.2022-24

2022 年 8 月

病体生理研究所

新規受託開始のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当研究所をご利用いただきまして誠に有り難うございます。

この度、下記検査項目におきまして、新たに受託を開始させて頂くことになりましたので、ご案内申し上げます。

何卒、ご利用賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【新規受託項目について】

- ◆トリコモナス/マイコプラズマ・ジェニタリウム同時核酸検出〔16337〕
- ◆トリコモナス/マイコプラズマ・ジェニタリウム同時核酸検出（尿）〔16340〕

…検査実施施設 M

※項目情報裏面参照

《受託開始日》：2022 年 9 月 26 日（月）受付分より

【新規項目情報】

項目名称	トリコモナス／マイコプラズマ・ジェニタリウム 同時核酸検出	
コード	16337	16340
検体材料	ぬぐい液	初尿 4.5mL
容器番号	62 淋菌・クラミジア PCR 用 (綿棒付き) 容器 *1*2*3	63 淋菌・クラミジア PCR 用 容器 *1*3
保存	冷蔵	
検査方法	リアルタイム PCR 法	
基準値	トリコモナス (－) マイコプラズマ・ジェニタリウム (－)	
報告様式	(－) / (+) / 判定不能	
所要日数	3～5 日 *3*4	
実施料 (区分)	350 点 (D023 10) *5	
判断区分	150 点 (微生)	
備考	*1：専用容器は、あらかじめご依頼ください。 *2：ぬぐい液の検体採取部位は、膣または子宮頸管です。 *3：検査材料が初尿または子宮頸管ぬぐい液の場合、同一検体で淋菌核酸増幅同定およびクラミジア核酸増幅同定との重複依頼が可能です。重複依頼の場合、表示日数よりご報告が遅れる場合があります。 *4：淋菌核酸増幅同定およびクラミジアトラコマチス核酸増幅同定と所要日数が異なりますので、ご注意下さい。 *5：膣トリコモナス感染症を疑う患者であって、鏡検が陰性または実施できないもの、もしくはマイコプラズマ・ジェニタリウム感染症を疑う患者に対して治療法選択のために実施した場合および、膣トリコモナス感染症またはマイコプラズマ・ジェニタリウム感染症の患者に対して治療効果判定のために実施した場合に、[D023] 微生物核酸同定・定量検査の「10」HPV 核酸検出の所定点数を準用して算定できます。	

膣トリコモナス (*Trichomonas vaginalis*) は、男性では尿道炎、女性では膣炎を引き起こす原虫です。膣トリコモナスを原因とする膣トリコモナス症は主要な性感染症の一つです。診断には、光学顕微鏡で運動性の膣トリコモナス原虫を確認する鏡検とトリコモナス選択培地による培養法が用いられていますが、鏡検は虫体数が少ない場合などで見落としを生じる可能性があります。また、培養法は感度が高いものの、結果判明までに時間を要することが課題となっています。

マイコプラズマ・ジェニタリウム (*Mycoplasma genitalium*) は、男性では尿道炎、女性では子宮頸管炎や骨盤内炎症性疾患を引き起こす細菌です。マイコプラズマ・ジェニタリウム感染症の症状は多岐にわたり、自覚症状も強いものから軽微なものまでであるため、症状からマイコプラズマ・ジェニタリウム感染症を診断することは困難とされています。マイコプラズマ・ジェニタリウムは臨床検体からの培養が極めて難しく、核酸増幅検査はこれまで保険適用外でした。近年では、薬剤耐性を有する症例の増加が問題視されています。

本検査はリアルタイム PCR 法により、性感染症の原因微生物である膣トリコモナスおよびマイコプラズマ・ジェニタリウムを迅速に検出します。膣トリコモナス感染またはマイコプラズマ・ジェニタリウム感染の診断補助検査として 2022 年 6 月に保険適用されました。

参考文献：高橋聡，他：日本性感染症学会誌 32 (1)：1-7, 2021.

以上